

資料番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・写・案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
2	摂津国島下郡太田村寺川家文書	洪水ニ付石砂入田畑畝高書上帳　太田村	宝暦4.7.-	大田村庄屋又左衛門印・弥次兵衛印・治兵衛印	田安様御役所	案	縦帳	1冊	24.2×17.1				反畝合計21町7反3畝11歩 高合計253石8斗7升2合 後世の表紙に糊付	土地 災害
3	摂津国島下郡太田村寺川家文書	太田村田畑畝広御改ニ付増米小前帳	宝暦11. (10.-)	—	—	原	縦帳	1冊	24.5×17.2	虫損小 染み小		(奥書)「右者当十月田安郡御奉……へ割附致可申候、以上　宝暦十一年巳ノ十月」	郡奉行竹田勘左衛門・岡本養右衛門見分による 「畝広見取米」の上納 貼紙訂正多し 後世の表紙に糊付	土地
4	摂津国島下郡太田村寺川家文書	畑田成増米引附改帳　太田村	寛政4.1.-	—	—	原	縦帳	1冊	24.0×18.0	虫損小			町歩合計5町1反8畝13歩 増米合計3石8斗5升5合 地番を朱字で入れる。貼紙訂正多し 後世の表紙に糊付	土地
6	摂津国島下郡太田村寺川家文書	書上帳　摂州島下郡太田村(朝鮮人来聘国役高につき)	(文化5.6.-)	田安御領知摂州島下郡太田村庄屋長兵衛・年寄与左衛門	御奉行様	写	縦帳	1冊	24.7×16.7				太田村国役高(4組、免除高あり) 1034石7斗3升7合 13-1に関連 宛先は大坂町奉行 後世の表紙に糊付	土地
7	摂津国島下郡太田村寺川家文書	高附書上帳　摂州島下郡太田村四組	文化5.9. (17)	太田村庄屋長兵衛・年寄与左衛門	長柄御役所	写	縦帳	1冊	24.8×17.5			(表紙追記)「上帳之控へ」	国役銀掛り高調査による 後世の表紙に糊付	土地
8	摂津国島下郡太田村寺川家文書	高反別田畑仕訳帳　摂津国島下郡太田村	文化14.6.-	摂州島下郡太田村同村百姓代平左衛門・年寄勝五郎・同半兵衛ほか2名	長柄御役所	写	縦帳	1冊	24.4×17.2			(表紙追記)「御代官棚部様之時差上候事」	大田村本郷のみ 高585石5斗9升・別47町2畝22歩の田畑別・毛附高 後世の表紙に糊付	土地
9	摂津国島下郡太田村寺川家文書	高反別書上帳　摂津国島下郡太田村	文化15.4.-	村役人	御兩人	写	縦帳	1冊	24.9×17.4				太田村4組分 高1041石7斗7升 反別86町1反8畝28歩 後世の表紙に糊付	土地
12	摂津国島下郡太田村寺川家文書	摂州島下郡太田村田畑持高名前帳　大田村寺川長兵衛	宝永1.8.-	〔寺川長兵衛〕	—	原	縦帳	1冊	27.6×21.5				寺川長兵衛所持高で、惣高×69石3斗5升とあり 表紙裏に享保18年に殿様より賜ったウンカ避けの呪文書付(寺川氏清秀写) 付箋・追記多し 後世の表紙に糊付	土地
12-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	覚(田成米高につき)	〔近世〕 .-. -	—	—	原	切紙	1点	15.8×14.6		表紙の次に挟む			土地

13-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	書上帳 摂州島下郡太田村 (朝鮮人来聘国役高につき)	(文化5.6.-)	太田村庄屋長兵衛	長柄御役所	案	豎帳	1冊	25.4×17.3		13-1・2を 紙縫で一 括	(表紙追記)「本紙ハ片折ニてとじ 帳」	大坂西町奉行所へ差出した内容(6と同文)の報告一括のまま後世の表紙に糊付	土地
13-2	摂津国島下郡太田村寺川家文書	書上帳 摂州島下郡太田村 (朝鮮人来聘国役高につき)	(文化5.6.-)	田安御領知摂州島下郡太田村庄屋長兵衛(印)・年寄与左衛門(印)	御奉行様	原	豎帳	1冊	27.3×21.8		13-1・2を 紙縫で一 括		国役金掛り高1041石7斗7升(免除高なし)一括のまま後世の表紙に糊付	土地
14-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	〔書状〕(茨木村笠屋治助 願い下げの書付につき通知)	卯(文政2) .1.2	辻新蔵	寺川長兵衛様	原	切紙	1通	15.8×75.3		14の丁間 に挟む		辻新蔵は中河原村の庄屋、願い下げは佐太役所宛	訴訟
14-2	摂津国島下郡太田村寺川家文書	乍恐書付を以奉願上候(年寄役病気により頭百姓を年寄役に加えることにつき)	文政5.9.16	—	—	案	切紙	1通	15.5×12.8		14の丁間 に挟む		頭百姓は平左衛門と彦次郎、14に同文の願書あり	村
14-3	摂津国島下郡太田村寺川家文書	乍恐歸住御願奉申上候(家出人丹蔵歸村につき)	文政10.12.6	丹蔵、親伊三郎、五人組嘉七、ほか1名	—	案	切紙	1通	15.7×51.3		14の丁間 に挟む		心願により伊勢参り途中で病気になり手間取る	戸口
14-4	摂津国島下郡太田村寺川家文書	乍恐口上(太田村百茂吉方出火につき届)	嘉永4.12.8	—	—	写	切紙	1通	16.3×40.4		14の丁間 に挟む	(端裏書)「平野橋筋 松流藤並」	14とは年代的に合わず	災害
14-5	摂津国島下郡太田村寺川家文書	乍恐御嘆願奉申上候(太田村彦次郎身持ち悪しく吟味を受け改心・詫びにつき)	〔近世〕.-.-	右村(太田村)年寄文五郎印、取締役中河原村新蔵、橋之内村甚兵衛	—	案	豎紙	1通	25.0×33.5		14の丁間 に挟む		彦次郎は寺川氏か	治安
16	摂津国島下郡太田村寺川家文書	村方明細帳 摂州島下郡太田村	延享4.5.-	庄屋・年寄	萩原藤七郎様御役所	案	豎帳	1冊	24.5×17.0	虫損小 付箋外 れ多し		(表紙追記)「ひかへ」 (裏表紙)「済」	太田村本郷分、1と関係後世の表紙に糊付	村
18	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寛政十年午八月十一日出立・同廿二日着、江戸田安御屋形御役所江願出候節日記・諸事控	(寛政10.8.22 ~同.11.2)	太田村惣百姓代平左衛門・半次郎・弥七・惣兵衛	—	原	豎帳	1冊	25.0×17.6	虫損小			江戸屋形役所に出願するも小前百姓分際で不届きと叱責され、御用書を貰い帰国。出願内容は不明後世の表紙に糊付	村
18-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	乍恐言上御歎奉申上候(上野より水論一件江戸表出願の咎めにつき)	〔寛政10〕 .9.-	—	関東御役所様	案	切紙	1通	16.3×40.8		表紙の次 に挟む		長柄役所より出願取り下げの命あるも、遠方ゆえ致し方なきこと	村
20	摂津国島下郡太田村寺川家文書	村明細帳 摂州島下郡太田村之内新田	嘉永3.10.-	百姓代清兵衛(印)・年寄又七(印)・庄屋利助(印)	—	原	豎帳	1冊	24.9×17.6				高48石1斗 家数7軒・人数32人 後世の表紙に糊付	村
23	摂津国島下郡太田村寺川家文書	雛形宗門人別寄帳 摂州島下郡太田村	享和3.3.-	太田村庄屋長兵衛(印)・年寄与左衛門(印)・同断要蔵(印)ほか1名	長柄御役所	原	豎帳	1冊	24.0×17.5				太田村本郷分 人数348人、家数64軒 村高内訳に付箋多数 後世の表紙に糊付	戸口

24	摂津国島下郡太田村寺川家文書	宗門御改帳之写　御領知摂州島下郡太田村（嘉七祖母智正90歳の届出につき）	天保9.2.13	右村（太田村）庄屋又兵衛	長柄御役所	写	縦帳	1冊	24.9×17.4			（表紙追記）「当村百姓嘉七祖母智正、当戌年齢九拾歳御届」	寛政11・文化6・文政9年の嘉七一家の宗門改帳写を証拠として提出したものの後世の表紙に糊付	戸口
----	----------------	--------------------------------------	----------	--------------	-------	---	----	----	-----------	--	--	------------------------------	---	----